



第 73 卷 総 目 次

1990(平成2)年

【論 説】

一八八〇年代英領インドにおける植民地官僚制改革問題について……………	本	田	毅	彦…一(一)
一 国平均役の確立過程……………	上	島	享…一(四一)	
植民地期ジャワ・マヅラにおけるデサ首長「自由選挙」をめぐる…	植	村	泰	夫…一(七三)
黄震の広徳軍社会改革……………	戸	田	裕	司…一(一〇五)
社会主義者鎮圧法下のメディア環境と社会主義大衆機関誌の起源……………	佐	藤	卓	己…二(一五五)
末期における鎌倉幕府訴訟制度の実態……………	古	澤	直	人…二(一九八)
春秋斉霸考……………	吉	本	道	雅…二(二三八)
新連邦主義におけるアメリカ連邦権力……………	今	津	昌	晃…三(三一七)
ドイツ三月革命前後の労働階級福祉中央協会……………	北	村	昌	史…三(三五三)
社会大衆党の国家社会主義的画一化と小市民……………	小	泉	悦	洋…三(三九〇)
書札様文書の礼紙について……………	上	島	悦	有…四(四七七)
北朝隋唐時代における胡族の通婚関係……………	長	部	悦	弘…四(五一〇)
近代英国のレヴァント貿易……………	川	分	圭	子…四(五五〇)
改 票 考……………	谷	井	俊	仁…五(六四三)
蒙古襲来と鎌倉幕府……………	南	基	鶴	鶴…五(六八二)
ワルシャワ連盟協約の成立……………	小	山	純	哲…五(七二二)
殷墟前半期の青銅彝器の編年と流派の認識……………	難	波	純	子…六(八〇三)

戸部と戸部則例……………谷 井 陽 子…六(八四六)

一九四五年フランス国民の帝国意識……………杉 本 淑 彦…六(八八三)

【研究ノート】

戦間期大阪に於ける「接客婦」とその運動……………藤 目 ゆ き…二(二七五)

源有仁編の儀式書の伝来とその意義……………田 島 公…三(四二一)

紀元後のエリユマイス王国……………春 田 晴 郎…三(四四三)

尺振八の共立学舎創立と福沢諭吉……………鈴 木 栄 樹…四(五九一)

最近のロシア農民史研究について……………梶 川 伸 一…四(六一二)

良渚文化と大汶口文化の図象記号……………林 巳 奈 夫…五(七五八)

江戸人の不思議の場所……………内 田 忠 賢…六(九一七)

【書 評】

S・ランシマン著、和田廣訳『十字軍の歴史』……………八 塚 春 児…一(一三七)

藤縄謙三著『歴史の父ヘロドトス』……………仲 手 川 良 雄…二(二九六)

野田宣雄著『教養市民層からナチズムへ』……………谷 口 健 治…二(三〇二)

吉岡康暢著『日本海域の土器・陶磁〔中世編〕』……………宇 野 隆 夫…三(四六五)

辻本雅彦著『近世教育思想史の研究』……………藤本雅彦、桂島宣弘…五(七七七)

中村幹雄著『ナチ党の思想と運動』……………原 田 一 美…五(七八四)

J. Wilkinson, J. Hill and W.F. Ryan eds, *Jerusalem Pilgrimage, 1099-1185*……………小 田 匡 保…五(七九〇)

井野瀬久美恵著『大英帝国はシネーシック・ホールから』……………佐 久 間 亮…六(九四五)

【紹介】

カルロ・M・チボラ著、日野秀逸訳『ベストと都市国家』……………	高田京比子…一	(一四六)
鹿野政直著『「鳥島」は入っているか』……………	西山伸…二	(三〇八)
David Carpenter, <i>The Battles of Lewes and Evesham 1264 / 65</i> ……………	朝治啓三…二	(三〇九)
デイミータル・アンゲロフ著、寺島憲治訳『異端の宗派 ボゴミール』……………	足立広明…四	(六三三)
清水廣一郎著『中世イタリアの都市と商人』……………	山辺規子…五	(七九七)
川越修、原田一美、姫岡とし子、若原憲和編『近代を生きる女たち』……………	北村昌史…六	(九五一)